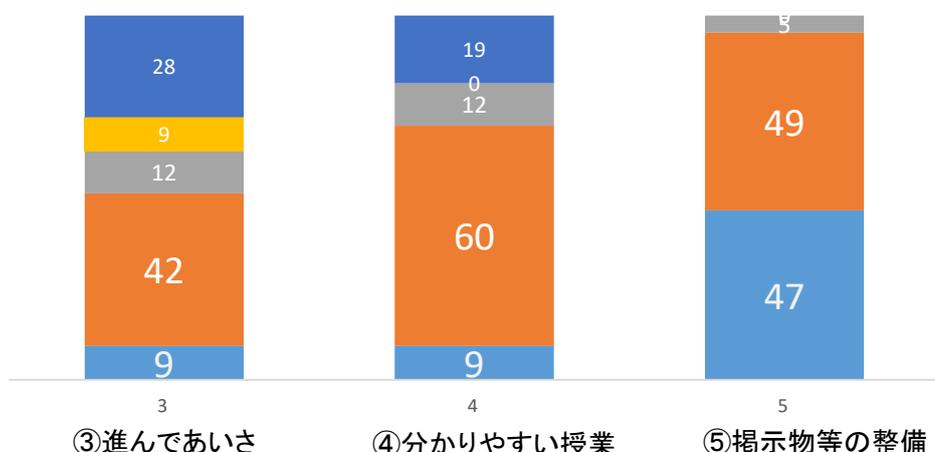


- ③ 子どもたちは、廊下ですれ違った時など「おはようございます」「こんにちは」と進んであいさつをしていた。
- ④ 子どもたちにとって、わかりやすい(=学びやすい)授業が進められていた。
- ⑤ 教室や廊下の掲示物や施設・設備は、子どもたちが生活しやすいように整えられていた。

回答総数 43 人	③ 進んであいさつ			④ 分かりやすい授業			⑤ 掲示物等の整備		
	(人)	(%)	昨年度	(人)	(%)	昨年度	(人)	(%)	昨年度
A : よくあてはまる	4	9	27	4	9	23	20	47	55
B : ややあてはまる	18	42	54	26	60	62	21	49	39
C : あまりあてはまらない	5	12	15	5	12	9	2	5	1
D : あてはまらない	4	9	1	0	0	1	0	0	0
E : どちらとも言えない	12	28	3	8	19	5	0	0	5

学校公開参加者アンケートの結果 ③④⑤

- A : よくあてはまる
- B : ややあてはまる
- C : あまりあてはまらない
- D : あてはまらない



<考察>

「進んであいさつ」のAとBの合計回答率は、昨年度よりも大きくダウンしている。あいさつの啓発活動は、生活委員会や学年委員、PTA活動でも取り組みよく努力している。やらされるあいさつにならぬよう、教師自ら温かいあいさつを投げかけ、子どもたちにあいさつによる幸せ感を味わわせることも推進していきたい。

「分かりやすい授業」についても、A B回答率がダウンしている。生徒から「分かった」「楽しかった」の声が聞こえる授業の研究を進めていく。教師側からの一方通行の授業に陥らないように、教科部会を中心に研究を進めていきたい。

「掲示物の整備」は、AとBで今年度も96%の高い評価をいただいた。各クラスの掲示物には学級担任や子供たちの思いが込められたものが多く、なおかつ整然と掲示されているため、教室に温かい空気と空間をもたらしている。各学年掲示板も、学習内容に即した掲示を工夫して行っている。保健関係や進路関係についてもスペースを有効に使っている。図書館においては、書架の整備と展示の工夫をすることで読書活動の活性を促している。掲示物ではないが、靴箱の整頓について本年度もお褒めの言葉をいただいた。見学に来た教育委員会の先生から、「素晴らしいこと。そして大切なことです。」と声を掛けていただいた。整理、整頓、清掃、清潔が当たり前ができるよう、全職員で共通理解を図り、生徒が主体的に活動できる学校を目指していきたい。